



お知らせ

- #マーマレード作り 3月14日(火) 草志舎
- #下期セミナー 3月18日(土) 古曳邸
- #六甲山荘研修 3月20日(月・祝)
- #六甲山荘作業 3月25日(土)
- #畑儀文の合唱教室 3月27日(月) 草志舎
- #六甲山荘公開準備 3月31日(金)
- #六甲山荘公開再開 4月1日(土)
- #畑儀文の合唱教室 4月17日(月) 草志舎
- #和のこもの展 4月26日(水) 27日(木) 草志舎



アンサンブル・アメニティ結成10周年記念コンサート
(カトリック芦屋教会)

予告

2017年度セミナー<足跡を探访するII>

主催：文化遺産継承協議会

2017年度のセミナー前期は「足跡を探访するII」というテーマでお送りします。講演と懇談で会場は5月、6月、9月は草志舎、7月は東京です。

日程	内容	講師
4月 8日(土)	「ヴォーリズさんのウサギとカメ」	講師 山崎富美子
5月13日(土)	「雲雀ヶ丘花屋敷の100年」	講師 正司泰一郎
6月10日(土)	「阪神間の近代建築」	講師 清水彬久
7月17日(月・祝)	「ナショナル・トラスト」(東京)	講師 清水順子
9月 9日(土)	「失敗者の自叙伝」	講師 石田忠範

時間はいずれも14時から

- | 関西 | 定員 | 会場 | 参加費 |
|----|------------|-----|--|
| | 20名を目途とする。 | 草志舎 | 通し参加(4回) 会員4,000円 一般6,000円
一部参加(1回) 会員1,500円 一般2,000円 |
-
- | 東京 | 定員 | 会場 | 参加費 | オプション |
|----|-----|--------------|-----------------------|--------------|
| | 25名 | 自由学園明日館(豊島区) | 会員1,500円 一般2,000円(予定) | 明日館見学(ガイドつき) |



昨年のセミナー風景

詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。なお東京の案内は後日お送りします。

ヴォーリズ六甲山荘の一般公開がはじまります

春が近づいて、ヴォーリズ六甲山荘の一般公開がまもなく再開されます。4月から11年半ばまで原則として土日祝日にオープンします。公開のほかに今年もシンポジウムや草木染教室などいろいろなイベントも計画中です。

山荘のチラシを同封しています。お知り合いをお誘いくださってぜひ六甲山荘をお訪ねください。

<<六甲山荘のスタッフ募集>>

ヴォーリズ六甲山荘の公開中の仕事は次のようなものです。来場者を迎える受付、館内を案内するガイド、販売コーナーを担当する販売、お茶、ケーキやランチを用意する喫茶などです。スタッフは助け合いながらこれらの仕事をこなします。マニュアルもあるので、分からないときは確かめればよいのです。

このスタッフにあなたも参加してみませんか。私たちの文化財である六甲山荘で時間を過ごすのはとても気持ちがいいし、お客様との出会いも楽しいものです。

ぜひあなたもスタッフにおいでください。3月20日(月・祝)はスタッフ研修の日です。この機会をお見逃しなく!

六甲山荘スタッフ研修と準備作業

六甲山荘の公開にそなえて建物や庭の大掃除、スタッフの研修などをします。久しぶりに山荘に逢えるのが楽しみです。研修とスタッフ募集の案内はこのアメニティ便りに同封しています。ごらん下さい

スタッフ研修 3月20日(月・祝) 安場耕一郎さんが研修指導して下さいます。

初めてスタッフに挑戦しようという方、ぜひご参加ください。スタッフ経験者の方も復習のいい機会です。

作業 3月20日(月・祝) 25日(土)

公開準備 3月31日(金)

学生見学日 3月25日(土) 4月1日(土)

ご報告 アンサンブル・アメニティ結成10周年記念コンサート 1月29日(日) カトリック芦屋教会

すばらしいコンサートでした。皆様のご協力のおかげで会場は満席でした。アンサンブルの4名の演奏はもちろん、ゲストの尺八、箏もともに見事なハーモニーを奏で、参加者の皆さんからも「とてもよかった」との絶賛の声をたくさんいただきました。司会をしてくれたハナ・イスタムさんも上手でしたね。会場の音響もよく、教会のスタッフの皆さんにも親切に対応していただきました。打ち上げに教会の集会室をお借りしたのも、移動に時間がかからず、なごやかでいい会になりました。企画実行委員の皆さんには大活躍していただき、感謝です。



アンサンブル・アメニティコンサートを聴いて

佐藤正子

1月29日午後 カトリック芦屋教会にて「春の海」～洋と和をつむぐ響き～のタイトルのもと開催された結成10周年記念コンサートはアンサンブルアメニティのメンバーに尺八と箏が加わって新春にふさわしい演奏会でした。西洋と日本のメロディーが心地よくとけあい、かつ和楽器のお箏と尺八の特性を生かした演奏が西洋の楽器と絶妙なアンサンブルをかもし心地良い時を堪能いたしました。また礼拝堂の高い天井、白い壁の細長い窓から差し込む光がかもしだす雰囲気がコンサートを一層素晴らしいものとしているに違いなく感じました。



年末年始のお忙しい時にこの演奏会のために時間を割きそれぞれに研鑽を積まれて素晴らしい演奏をお聞かせ下さった皆様にお礼申し上げます。

INTO 世界大会のご案内

INTO (国際ナショナル・トラスト機構) の世界大会がつぎのように開かれます。

大会テーマ 「文化遺産こそ環境持続性の鍵」

期間 2017年9月11日(月)～15日(金)

会場 インドネシア・バリ島ウブドとその近辺

内容 主テーマとサブテーマに関するプレゼンテーションとディスカッション

参加費 会員300ドル 学生110ドル(3月31日までの早期割引)



2017年のケンブリッジでの大会には学生会員2名をふくむ4名が参加しました。近場のアジア地域での開催は参加のチャンスです。参加ご希望の方はご連絡ください。

詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

ご報告 タイ交流旅行 2月6日(月)～12日(日)

タイ・チェンマイ近郊の学校ではいつもながらの大歓迎を受けました。私たちの支援金で昨年からは環境教育プログラムが始まったフェイポン校では立派な野菜が育っていました。

オプションのミャンマーもよかったです。首都ヤンゴンには植民地時代の建物がたくさん残っていて風情のある街でした。バガンの仏教遺跡も見ごたえありました。



タイとミャンマーの旅

清水 順子

アメニティ2000協会は、タイ・チェンマイYMCAが行っている農業・環境教育プログラムに毎年支援金20万円を送

っています。その成果を見聞き子供たちに会う交流旅行に出かけました。2月のタイは花が美しく過ごしやすい季節です。

最初に訪問したパンマカド校は2003年から支援を行っている学校です。国道からデコボコ山道を1時間もかけて到達するのですが、当初は幼稚園と小学校しかありませんでした。それがYMCAのプログラムを実施していくうちに、中学校が併設され、今回は保育園も作られていました。ここでの教育活動を行政も認めているという証拠でしょう。私たちが2年前に植えたアボカドの木も元気に育っていました。タイ旅行参加者の有志による奨学金を受けて高校に通っている学生も元気な姿をみせてくれました。

午後に訪ねたフエイポン校は山岳民族の子供たちが通うこじんまりとした学校でした。豚舎には貫禄たっぷりの母豚と元気な子豚、畑には種をとるためのキャベツの花、養魚池にはたくさんの水紋、キノコ倉にはキノコの胚を植えた袋がぎっしり・・・どれも私たちの援助が実をむすんでいる姿です。これが子供たちの栄養となり、地域の人々への啓発となっていると聞き、こちらも感謝の気持ちでいっぱいになりました。

さてオプションのミャンマーは予想以上にいい旅でした。着いた日の午後は首都ヤンゴンの街歩きをしました。この地は昔から交易の中継点として栄えた町で、植民地時代の英国人が建てた立派な建物がたくさん残っていました。

翌日訪れたバガンは世界三大仏教遺跡の一つです(あとの二つはアンコールワットとボロブドゥール)。広い平原に主として赤土のレンガづくりの大小のパゴダや寺院が文字どおり林立しています。ほとんどが11世紀から13世紀にかけて建てられたもので、2000から3000が現存していると言われていています。王様などが大きいのを建てると、臣下たちがそのまわりに小さいのを建てる、とどんどん増えたようです。寺院を建てる、なかに収める仏像をつくるというのが「功德をつむ」ということで、もちろんお参りするの、お供えをするのも功德です。仏教への帰依の心は今も強く続いていて、お坊さんの托鉢姿はどこでも見られ、市場の店先には托鉢用の米をいれた箱がおいてあって、お坊さんは各自一掬いずつもらっていました。

バガンのシュエイサンド寺院の急な階段をのぼって、むきだしの回廊からながめた夕日は絶景でした。



ご報告 新年会(関西) 1月9日(月・祝) 草志舎

大勢の参加でにぎやかな新年会でした。いつもの田積さんのリコーダー演奏のほかカルロスさんの歌もあり、楽しかったです。食べ物・飲物の差し入れもいただき、感謝です。差益はわずかですが寄付といたしました。



ご報告 新年会(関東) 1月14日(土) 六義園

昨年の浜離宮庭園につづき特別名勝での新年会で、なごやかに楽しいひとときでした。寄付金の集め方について提案もあり、寄付を集めましょうとハツパをかけあいました。



予告

和のこもの展

春の恒例行事<和のこもの展>を開きます。

4月26日(水) 27日(木) 草志舎

いつも開場前から列ができる大人気イベントです。

和の布と押し花のすてきな小物が並びます。私たちはお昼ごはんとお茶を担当しますが、こちらにも力がいります。前日の準備と当日の調理・サービスにどうぞご参加ください。



予告

2017年度の通常総会

総会は私たちの活動のこれまでとこれからについて考え話し合う大切な場です。会員ならどなたでも参加できます。2017年度は次のようにひらきます。ぜひご参加ください。また総会のあとに交流会もいたします。こちらにもぎやかに楽しみたいと思います。皆さんのご参加お待ちしております。

日時 5月20日(土) 午前10時半

場所 草志舎

総会への案内状は後日お送りいたします。

畑儀文の合唱教室は2017年度も開かれます

テノール歌手の畑儀文さんがみずから伴奏しながら指導してくださるとても贅沢な合唱教室です。曲目も歌曲から童謡まで幅ひろく、メロディーとハーモニーのうつくしい曲を皆さん楽しんで歌っておられます。あなたも参加してみませんか。

日時 原則として第3月曜日の10時半から

場所 草志舎

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。



<近江兄弟社発行の月刊誌『湖畔の声』で山崎富美子さんの「ヴォーリズさんのウサギとカメ」の連載が開始されました。それについて山崎さんから次のような文章をいただきました。>

山崎 富美子

「どうしよう…」頭の中が突然真っ白になって…。

絵本『ヴォーリズさんのウサギとカメ』の出版に当たり、ヴォーリズ建築事務所の芹野与幸氏より「巻頭言を作家でエッセイストの阿川佐和子さんをお願いしたら」とご提案いただきました。阿川佐和子氏はご存じのように東洋英和女学院のご出身。東洋英和女学院校舎の建て替えに際し、『鳥居坂わが学び舎 1933～1993：東洋英和女学院校舎の記録』の中で、中学高校時代の六年間を過ごされた卒業生のひとりとして、「記録書作成までの記」を書いておられます。その阿川氏に巻頭言をどうしたら頼むことができるのか、頼んだとしてもお忙しい阿川氏に書いてもらえるのか、一体どうすれば、こんな素敵なことが実現できるのか、阿川氏の巻頭言をいただければこんな名誉なことではない！頭の中でいろいろな思いが、走馬灯のようにくるくる回っていました。藁をもすがる思いで、我がアメリティ2000協会清水彬久理事長に相談しました。「会員の貴島照代さんに聞いたら良い。彼女は東洋英和の卒業生で、同窓会大阪支部の部長をしておられるから」早速貴島さんにお聞きして、書でしたためたお手紙でお願いしました。本当に清水理事長の回答は、救世主のようで、貴島さんはマリアさまのようでした。今回、『湖畔の声』に「山崎さんのゆったりした言葉で何かを書いてほしい」と芹野氏やヴォーリズ記念館の藪秀実館長からのご依頼をいただき、わずか10年ばかりの経験から描く、ヴォーリズが発し続けた光の50年後の世界。ほんの少し垣間見ただけですが、絵本を出すことで広がったことの記録として書かせていただきました。2016年12月号から1年間の連載ですが、ご笑覧いただきましたら幸いです。

<お勧めの本>

門井慶喜著『屋根をかける人』

市川 武

この本は、教会や学校等多くの建物を手がけた建築家として、又メンソレータムの近江兄弟社の創業者として、日本近代史に大きな足跡を刻む日本人・一柳米来留（メレル）、華族の娘と結婚し、日米開戦前夜に日本に帰化する等、その波乱の人生を描いた伝記小説です。

一柳氏を我々は、ヴォーリズさんと呼んでいるが、米名はウィリアム・メレル・ヴォーリズといい、昭和15年8月20日、妻一柳満喜子氏に入籍し、日本人となりました。この本では、明治38年(1905)1月29日に横浜港に着岸してから、昭和39年(1964)5月7日、83歳で近江八幡で亡くなるまでの一代記です。

「彼は建築家としては、アマチュアです。しかし、彼の建築物が醸し出す「古き良きアマチュアリズム」こそが、他の建築家との差異となりました。彼はプロフェッショナルではないから、建物を利用する人の居心地を第一に考えて設計しました。プロが抱きがちな「こだわり」がなかったのが長所となったのです。」(歴史街道2月号・信念を貫き通した日本人より)。「ヴォーリズの建物は造形的にはそれほど美しいものではない。彼の真価は其中で暮さないとわからない(中略)。文中で広岡浅子が自宅の設計を頼むときにこう言う「あんたはんの建物は見た目よりも内部の暮らしやすさに取り柄があるという話を聞きましたによってな」という。それがヴォーリズの思想だった。何よりも暮らす人たちの心と身体を安らかにすることを彼は気づいたのである。」(神戸女学院大学名誉教授・内田樹先生・本の旅人1月号「優しさと想像力を隠した人物ヴォーリズ」より)。

戦時中、ヴォーリズと満喜子さんは軽井沢に疎開して、そこで終戦を迎えました。そのヴォーリズのもとに、「なんとか皇室を残したいと思う近衛文麿から横浜のマッカーサーへの仲介を依頼してほしいという使いがやって来ました。横浜まで出かけます。会談の実現にどれだけヴォーリズが関与したか、よく分からないんです(本の旅人1月号・門井慶喜／阿川佐和子の対談集より)」。

昭和22年6月10日、ヴォーリズは京都御所の庭で天皇に逢いました。『チャリと軽い音がして、「おはよう。一柳さん」と声やわらかであった。メレルはにっこりして、「おはようございます」。「いろいろとありがとう」。「あなたは、橋ですネ、日本とアメリカを結ぶ橋、どちらにも属さず、どちらにも属する」。メレルは「ちがいます。橋ではありません。建築家ですから、私は双方に、大きな屋根をかけたのです。』

ヴォーリズの伝記はなかった。この本を読むとヴォーリズの優しさや心の広やかさが胸を打ちました。こんなアメリカ人がいたなんて。

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2016」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、最近読んだ本、見た映画、腹のたつこと、笑ったこと・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後 締め切り 3月末日
FAXでもメールでも郵送でも、事務局までお送りください。

マーマレードをつくりましょう！

熊本の中嶋祐一さんの甘夏を使って今年もマーマレードを作ります。添加物を一切使わないおいしくて安全なマーマレードができます。皆さんから寄付してくださったガラス瓶に詰めて冷凍保存し、六甲山荘で売ったり、希望者にお届けします。このマーマレードをご一緒に作ってみませんか。

3月14日（火）午前10時半～夕方
一部の時間でも結構です。

持ち物 エプロン、包丁
なお昼食は簡単ですが用意します。

募金のご報告～12月1月

12月、1月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。（敬称略）

*文化遺産継承基金

《12月1月合計 200,850円 2016年度累計 1,016,530円》

タイ交流旅行～フエイボン校



肝っ玉母さんブタ



民族衣装の子供たち



鯉のぼりを喜ぶ子供たち